

会員の声

蘭方見聞録

タナカ ヒロカス
田中 宏和*

日本公衆衛生雑誌 2019; 66(12): 778.
doi:10.11236/jph.66.12_778

私は現在、日本学術振興会海外特別研究員 (JSPS Overseas Research Fellow) としてオランダのロッテルダムにあるエラスムス大学医療センター (Erasmus University Medical Center) で研究を行っている。また、東京大学大学院医学系研究科医学博士課程に在学中だった2017年8月からの1年間にも「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム (官民協働海外留学支援制度)」の支援を受け、ロッテルダムに留学しており今年でオランダ居住2年目になる¹⁾。

エラスムス大学医療センターは医学部生約2,000人を擁するオランダ最大規模の医学部 (オランダでは医学部は8大学に設置されている) である。公衆衛生、健康科学の関する部門はオランダ健康科学研究所 (Netherlands Institute for Health Sciences) として組織され修士課程 (Research Master in Health Sciences など)・博士課程 (PhD program) のコースを提供している²⁾。枠組みは疫学、生物統計学、環境衛生学、医療経営管理学、社会行動科学の5つの分野が必須とされるアメリカ型の公衆衛生大学院とは少し異なるものの、疫学や生物統計学などから構成され臨床疫学や遺伝・分子疫学もカバーしている。また、エラスムス大学健康政策・管理学 (Erasmus School of Health Policy & Management) と共同して構成されているのも特徴の一つである。医学部の講義は原則オランダ語で、大学院の講義は英語で行われている。

私が所属している公衆衛生学分野 (Department of Public Health) はスクリーニング評価、医療判断学、産業保健、終末期医療、外傷・安全、社会疫学、若年者保健、感染症コントロール、がんサーベイランスの9つのサブ部門に分かれており、スタッフと学生を合わせると100人を超す大所帯である。約70%が地元のオランダ出身のスタッフ・学生で、残りは留学生や私のように国外 (主に EU 圏) から

研究員として参加しているメンバーである。日本からこの部門に来たのは私が初めてのことだった。

私を受け入れてくれたヨハン・マッケンバッハ教授 (Prof. Johan P. Mackenbach) とその研究グループは、過去30年にわたり世界の健康格差研究をリードしてきた。とくに、欧州域内の健康格差の国際比較研究を数多く実施しており、欧州では絶対的な健康格差は縮小傾向にあるものの相対的には健康格差が拡大していることや「平等主義」のスカンジナビア諸国では健康格差が小さくないことなどを明らかにしてきた^{3~5)}。私の研究テーマは「健康格差分析と対策の日欧比較」であり、1年目の留学では、日本に韓国を加え欧州8カ国 (フィンランド、デンマーク、イングランド/ウェールズ、フランス、スイス、イタリア (トリノ)、エストニア、リトアニア) との職業階層別死亡率の比較研究を論文にまとめることができた⁶⁾。

留学先に迷っている会員がいらっしゃったら是非オランダをおすすめしたい。オランダは「欧州の小国」と形容されることも多いが、大小の28カ国からなる EU 加盟国の中でも政治的・経済的に重要な役割を担っており、先進的な政策などの取り組みが多い。多様性と寛容にあふれるこの国では、欧州諸国の公衆衛生の発展だけでなく、歴史的、政治的、文化的、地政学的にも新たな考え方に触れることができるはずだ。

本稿について開示すべき COI 状態はない。

(受付 2019. 8.22)
採用 2019.10. 4)

文 献

- 1) 田中宏和. 留学大図鑑: 欧州の健康格差研究からアジアの未来を探る. 2018. <https://tobitate.jasso.go.jp/zukan/detail-1284> (2019年8月21日アクセス可能).
- 2) Netherlands Institute for Health Sciences. 2019. <https://www.nihes.com> (2019年8月21日アクセス可能).
- 3) Mackenbach JP, Valverde JR, Artnik B, et al. Trends in health inequalities in 27 European countries. *Proc Natl Acad Sci USA* 2018; 115: 6440-6445.
- 4) Mackenbach JP, Kulhanova I, Artnik B, et al. Changes in mortality inequalities over two decades: register based study of European countries. *BMJ* 2016; 353: i1732.
- 5) Mackenbach JP, Stirbu I, Roskam AJ, et al. Socioeconomic inequalities in health in 22 European countries. *N Engl J Med* 2008; 358: 2468-2481.
- 6) Tanaka H, Nusselder WJ, Bopp M, et al. Mortality inequalities by occupational class among men in Japan, South Korea and eight European countries: a national register-based study, 1990-2015. *J Epidemiol Community Health* 2019; 73: 750-758.

* エラスムス大学医療センター公衆衛生学分野
責任著者連絡先: Erasmus MC, P.O. Box 2040, 3000 CA Rotterdam, The Netherlands Department of Public Health, Erasmus University Medical Center
田中宏和